



沖縄に集まろう。

SDN、クラウドのブルーオーシャンへ
世界から沖縄へー沖縄から世界へ

**クラウドとネットワークがもたらす
社会システムの変革
～沖縄から始める社会プラットフォーム創造～**

**ユースケース研究・開発活動
Service Design Study Group (SDSG)**



ユースケース研究活動

ユースケース活動

SDSG

実ユーザ・研究家との交流機会創出
(ワークショップ、セミナー、勉強会、その前後の交流)



実現すべき社会システム/
ビジネスモデルの共有



会員/**実ユーザ**/検証パートナーとの検証エコシステムの構築



沖縄IT施策連携

ユースケース実証検証プロジェクト設立・研究・検証実施



OSSコミュニティへの
フィードバック



会員各実事業への
フィードバック



ユースケースをもとにした実オープンエコシステム構築・実事業化



Service **D**esign **S**tudy **G**roup

Service



Design

社会、産業、地域の基盤

活動（ワークショップ ~2015年度）

第1回 Internet Multimedia 2014年5月20日 @NEC芝クラブ(東京)

- Vidy.com 土田圭介氏
- Ustream Asia inc., CTO 本島昌幸氏

第2回 観光、公共政策 2014年8月25日 @イトーキSYNQA(東京)

- MM総研所長 中島洋氏
- 沖縄ツーリスト会長 東良和氏

第3回 ヘルスケア・医療 2014年9月12日 @イトーキSYNQA (東京)

- 金沢大学附属病院 長瀬啓介先生
- 神戸大学大学院 杉本真樹先生

第4回 メディア 2014年11月28日 @沖縄県市町村自治会館(沖縄)

- TBSディグネット 中尾聡氏
- 琉球放送(RBC) 平川靖士氏

第5回 オンラインゲーム 2015年2月28日 @IT津梁パーク(沖縄)

- モノビット 本城嘉太郎氏
- 沖縄ゲーム企業コンソーシアム/株式会社ブリブザー 渋谷氏、ト部氏

第6回 教育 2015年4月23日 @ザ・ビーチタワー沖縄(沖縄)

- 教育コンサルタント/柏市議会議員 山下洋輔氏

第7回 街作り 2015年7月31日 @レキオス メンバーシップサロン(沖縄)

- 東急電鉄 東浦亮典氏
- 沖縄大学 島田勝也氏

活動（その他 ～2015年度）

Okinawa Open Days 2014 医療スペシャルセッション 2014年12月12日

- 神戸大学大学院 杉本先生
- 大浜第一病院 稲嶺先生

@沖縄県市町村自治会館

理事座談会 医療・健康 2015年7月2日 @レキオス メンバーシップサロン(沖縄)

- 神戸大学大学院 杉本先生

Okinawa Open Days 2015 スペシャルトラック 2015年12月16日 @沖縄県市町村自治会館

「教育・人材育成においてIT・クラウドができること」～教育 x ICT・クラウド = クリエイティビティ育成を加速～

- STEAMおきなわ/なんじょう産学官人材育成協議会/南城市立大里中学校教諭 飯塚悟氏
- スクール・アドバイス・ネットワーク理事長/文部科学省第8期中央教育審議会委員 生重幸恵氏
- KBC学園 国際電子ビジネス専門学校副校長 淵上真一氏
- 沖縄総合通信事務所情報通信課長 二宮哲夫氏

「コンテンツが繋げる沖縄と世界。」～ゲーム・アニメ・漫画 サブカルチャーによるアジアの中心となりえる沖縄の将来と可能性～

- ベアーズスタジオ代表取締役/プロデューサー 朱胤盛<ジュ・ユンソン>氏
- スクウェア・エニックス プロデューサー 荒木竜馬氏
- マンガ家 オーサ・イエークストロム氏
- アーリーウィング 事業部長 植木純一氏

「ここから始まる未来、そして沖縄」～最新技術を紡ぐネットワークによる新しい社会システムの創造～

- ジャーナリスト 林信行氏
- フリーランス研究者 大塚誠氏
- ソフトバンク 技術戦略室 古谷智彦氏
- トヨタIT開発センター 研究員 藤井政登氏

活動（その他②）～2015年度～

地域が育む新たな学びと人材育成～沖縄県南城市のチャレンジ～ 2016年3月25日

@イトーキSYNQA(東京)

- スクール・アドバイス・ネットワーク理事長/文部科学省第8期中央教育審議会委員 生重幸恵氏
- 教育コンサルタント/柏市議会議員/教育共創研究所代表理事 山下洋輔氏
- ICT CONNECT 21 事務局長/JAPET&CEC 調査・研究開発部担当部長/DiTT 参与 片岡靖氏
- NPO法人 eboard 代表理事 中村孝一氏
- STEAMおきなわ/なんじょう産学官人材育成協議会/南城市立大里中学校教諭 飯塚悟氏

活動（2016年度）

ブロックチェーン技術の応用可能性・不可能性と新たな社会基盤 2016年7月19日

@那覇市IT創造館(沖縄)

- 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員 / 株式会社ブロックチェーンハブ CSO 斉藤 賢爾氏

機械学習ハンズオンセミナー in 沖縄 2016年9月29日 @琉球大学工学部(沖縄)

- フリーランス 大塚 誠氏

CivicTech — Codeを書き街を良くする…企画運営、開発者、行政の視点…先進地域「金沢市」の事例から沖縄でこれを紐解く 2016年10月20日 @沖縄国際ユースホステル

- 一般社団法人コード・フォー・カナザワ 代表理事/アイパブリッシング株式会社 代表取締役 福島 健一郎氏
- 金沢市都市政策局情報政策課 ICT推進室長 松本 明氏
- 沖縄県 企画部総合情報政策課 + 商工労働部 情報産業振興課



ブロックチェーン技術の応用可能性・不可能性と新たな社会基盤

セミナー概要

「ブロックチェーン技術の応用可能性・不可能性と新たな社会基盤」

2008年、匿名の開発者サトシ・ナカモトにより、デジタル通貨システム「ビットコイン」を実現するための分散相対タイムスタンプサーバ技術として提案されたブロックチェーンは、今やデジタル通貨のみならず、契約や企業の自動経営まで、新たな社会基盤としての様々な応用可能性が取り沙汰されています。しかし、その技術的特性は意外なほど未だ周知されていません。

そこで、ブロックチェーンの技術を基礎から解説するとともに、その限界と向き不向きを明確にした上で、噂されるさまざまな応用可能性について検討を加え、最新の技術動向も踏まえた上で議論します。

講師： 齊藤 賢爾 (慶應義塾大学SFC研究所上席所員 / 株式会社ブロックチェーンハブCSO)

1993年、コーネル大学より工学修士号(コンピュータサイエンス)を取得。

2000年より慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにて研究を行い、2006年にデジタル通貨研究で博士号(政策・メディア)を取得。

同大学院政策・メディア研究科特任講師等を経て、現在、同大学SFC研究所上席所員および株式会社ブロックチェーンハブ CSO (チーフサイエンスオフィサー)として、ブロックチェーンを含む分散レジャー(台帳)基盤技術の開発やその周辺の社会課題に関する研究に携わる。

「未来を変える通貨 ビットコイン改革論」(インプレスR&D)等、ビットコインやブロックチェーンに関する著書多数。



日時 : 2016年7月19日(火) 14時～17時30分

会場 : 那覇市IT創造館 沖縄県那覇市銘苅2-3-6

[実施概要]

(1)イントロデューズ（慶應大 櫻井氏）

(2)ブロックチェーン解説（講師：斉藤氏）

資料：<https://speakerdeck.com/ks91/possible-applications-and-impossibilities-of-blockchain-technology-and-the-new-social-infrastructure>
ブロックチェーンを支える技術、社会に与える影響、実利用上の可能性と数々の課題について解説。
リスクや運用のとり方1つで有用な基盤技術となりえることを言及。

(3)ワークショップ(参加者対話型のワールドカフェ方式) 30分延長

政府・公共、健康・医療、シェアリング、物流・追跡

※テーマ横断の「共有」や「移転」の共通的基盤技術としての可能性を実感

参加者数／申込者数 16名/25名

沖縄県庁 情報産業振興課 瑞慶覧主査（金融担当の櫻井主査は欠席）

沖縄タイムス 木下氏、日立 石川氏

その他 沖縄県内ITエンジニア、ラボ関係者等

当日の様子

講師講演
の様子



ワールド
カフェ
の様子





機械学習ハンズオンセミナー IN 沖縄

セミナー概要

「機械学習ハンズオンセミナー in 沖縄」

近年、機械学習やディープラーニングという言葉の認知度が上がるにつれ、これらの技術に対する期待が高まっています。しかし、急速に発展するこれら分野について、おおよその知識は知っていても、実際に実践する手前でとどまっているエンジニアが多いのも実態です。

このセミナーでは、来るべき次の時代に向け、これら機械学習に関わる技術の実際を知り、また、Pythonのオープンソース機械学習ライブラリであるscikit-learnを学習し使用することができるようにします。

また第二部では講師を交えて、参加者の交流の機会をもうけ、第一部に参加できない方でも参加可能です。

講師：大塚 誠（工学博士／フリーランス研究者）

UCLA、NAIST、OIST、IBM東京基礎研究所を経て、研究を主とするフリーランスエンジニアに。専門は機械学習、認知心理学、計算論的神経科学。特にディープラーニングや強化学習の理論研究を得意とする。

近年は動的ボルツマンマシンや認知バイアスを考慮した選択モデルなどを考案。

PyData.Okinawa主催。

日時 : 2016年9月29日(木)

第一部 9時30分～18時、第二部 18時30分～20時30分

会場 : 琉球大学工学部

主催 : 一般社団法人沖縄オープンラボトリ

共催 : 琉球大学工学部



第一部

- ・ 座学（機械学習の解説）
- ・ 環境構築～初級編
- ・ Kaggleにチャレンジ

第二部

- ・ 特別講演
(講師の研究テーマであった「動的ボルツマンマシン」の解説)
- ・ ライトニングトーク(OOL、琉球大学研究室から)

参加者数／申込者数 17名/21名

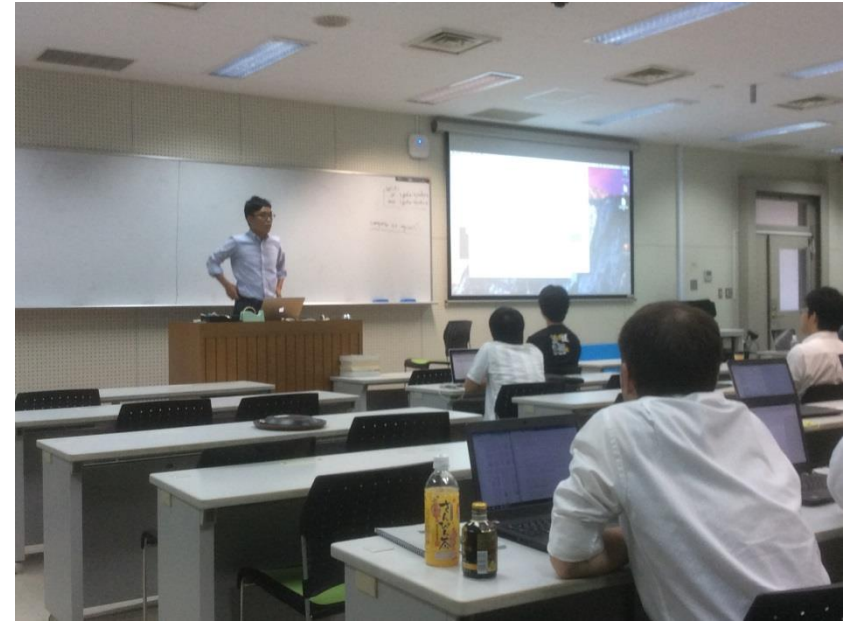
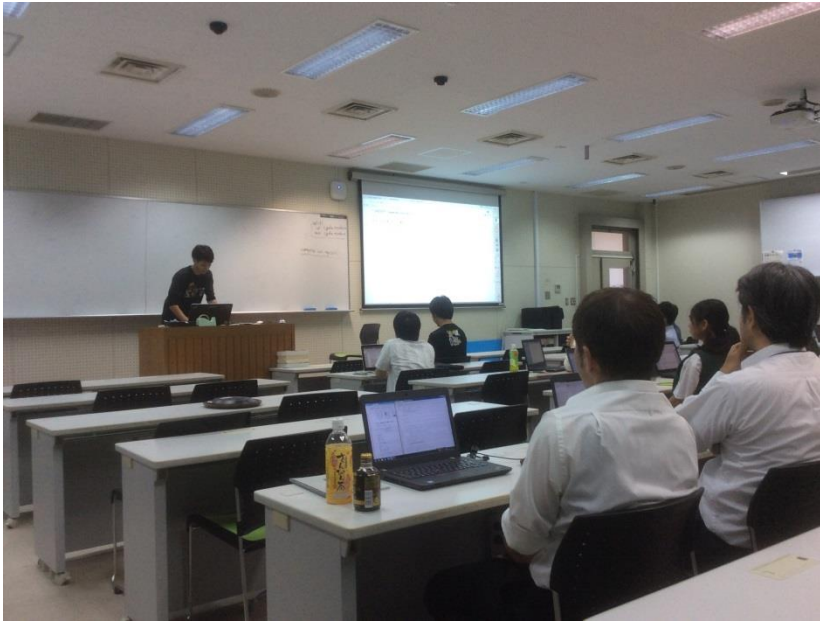
沖縄県情報産業振興課 宮城氏、沖縄タイムス 木下氏

琉球大学、那覇情報システム専門学校

その他 琉球インタラクティブ、メディアトランスポート等県内IT企業

当日の様子

ハンズオン
後の発表の
様子



特別講演、
LTの様子





CivicTech — Codeを書き街を良くする …企画運営、開発者、行政の視点…先進地 域「金沢市」の事例から沖縄でこれを紐解 く

セミナー概要

「CivicTech — Codeを書き街を良くする

…企画運営、開発者、行政の視点…先進地域「金沢市」の事例から沖縄でこれを紐解く」

日時 : 2016年10月20日(木) 14時～18時
会場 : 沖縄国際ユースホステル 大研修室

講師 :

福島健一郎（一般社団法人コード・フォー・カナザワ 代表理事、
アイパブリッシング株式会社 代表取締役）



2009年4月に金沢でアイパブリッシングをパートナーと創業。モバイルやオープンデータを軸にしたアプリやサービス開発を続けている。また、地域の課題をITの力で解決するために、2013年5月にCode for Kanazawaを9人で設立。日本で初めてのCode for コミュニティとなった。2014年に一般社団法人化。Code for Kanazawaが開発した5374（ゴミナシ）.jpは全国のコミュニティの手で2016年8月末現在で90都市以上に広がり、国産初のシビックテックアプリと言われている。現在は、シビックテックを国内に広げるための活動にも力を入れているほか、シビックテックを実現するための基盤となるオープンデータやオープンガバメントの推進についても精力的に活動を行っている。

松本明（金沢市都市政策局情報政策課 ICT推進室長）

昭和63年4月に大学卒業後、民間企業に15年在籍、職務経験者採用にて平成15年4月に金沢市入庁（会計課配属）。平成20年4月より情報政策課配属。情報システムの適正化や基幹系情報システムのオープン化計画に取り組み、平成28年4月に現職。現在、公衆無線LANやオープンデータ推進に取り組んでいる

その他、沖縄県 情報産業振興課 宮城直人班長、企画部総合情報政策課 仲西康二主査、
商工労働部情報産業振興課 宮城勇人主査がご登壇

セミナー概要

- (1) 地域コミュニティによる地域課題解決と新ビジネスの可能性 [福島健一郎氏]
- (2) 金沢市におけるICT推進の取組みとCivicTechについて [松本明氏]
- (3) おきなわICT総合戦略について／沖縄のIT施策と今後の取組について
[沖縄県 企画部総合情報政策課 仲西康二主査、
商工労働部情報産業振興課 宮城勇人主査]
- (4) 新たな社会システムの構築のため産学官民がやるべきこと
～今から始めること
(パネルディスカッション：福島健一郎氏、松本明氏
沖縄県 情報産業振興課 宮城直人班長、(進行)慶応大学 櫻井智明)

参加者：

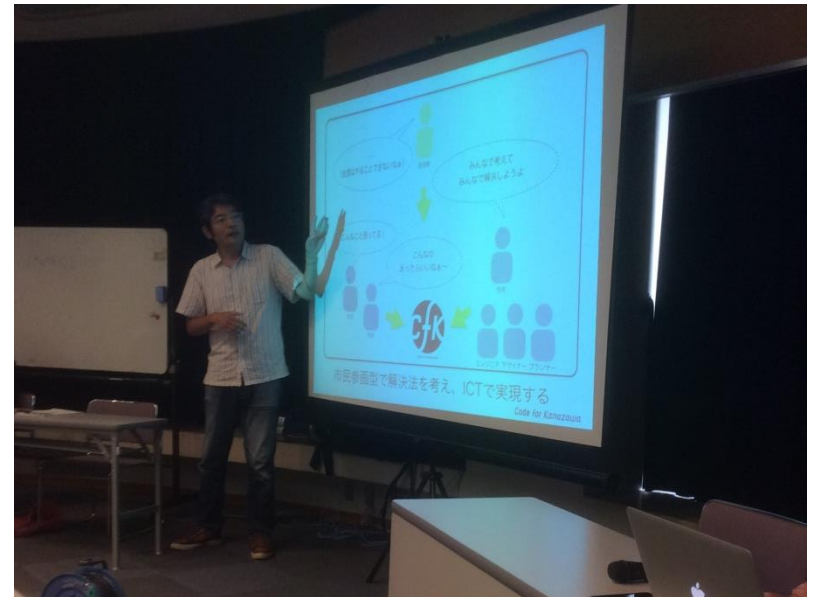
参加12名＋ラボ理事等／申込14名／募集25名

OCC2名、Machiquest、琉球新報1名 ← Code for Okinawa

浦添市役所、note、サビラ、NES沖縄支社 各1名

OOL4名

当日の様子





その他

オンラインゲーム関連プロジェクト

**現状、技術課題や事業化検討のため
情報交換、状況確認のための定例会議のみ実施中**

■ オンラインゲーム クラウド技術検証プロジェクト

オンラインゲームの遊戯および運用をユースケースとして取り上げ、従来アーキテクチャの実装ではない、クラウドネイティブなモデルや実装技術に関する開発・検証を行う。

■ オンラインゲーム リアルタイム通信検証プロジェクト

オンラインゲームを対象に、通信モデルの検討、低遅延なデータ送受信プロトコルの検証を行い、必要によりプロトコルおよび通信エンジンの開発や実験的な環境整備を行う。



沖縄県南城市「なんじょう産学官連携人財育成協議会」

- ・高い失業率、子供の貧困問題などの社会課題
- ・学校教育だけでは解決できない次世代のひとづくり



**学校のキャリア学習支援／地域学校連携推進
体験型ワークショップ／グローバル人財育成**

中高大高専の学生と企業人材によるコラボプロジェクト

※中高生プロデュース南城特産品商品開発サイエンスプロジェクト・プログラム始動)

地域拠点(地域寺子屋/ワーキングスペースなど)整備

地域内外の産学官連携による環境整備や機会創出による継続的人財育成

Energy Challenge Okinawa 2016 国際競技大会

学生や企業エンジニアが手作りの電気自動車で制限時間内でわずかな電力を用い、いかに長距離を走るかを競う競技大会。今回は沖縄で実施。

機械分野、エレクトロニクス分野はもちろん、各種センサやビッグデータ、機械学習などIT分野など、今後の社会においてこれら横断分野でのエンジニアリング技術を磨くことと、若き技術者を養成する貴重な機会。

会期: 12/28(水)～12/30(金)

主催: ECO2016大会実行委員会

後援: 豊見城市、豊見城市教育委員会

会場: 豊崎海浜公園 美らSUNビーチ





2017年度の活動に向けて

ソーシャルプラットフォームラボ活動

SDSG

実ユーザ・研究家との交流機会創出
(ワークショップ、セミナー、勉強会、その前後の交流)



実現すべき社会システム/
ビジネスモデルの議論・共有(PJ化検討)



会員/**実ユーザ**/検証パートナーとの検証エコシステムの構築(PJ化)



ユースケース実証検証プロジェクト設立・研究・検証実施



OSSコミュニティへの
フィードバック



各実事業への
フィードバック



ユースケースをもとにした実オープンエコシステム構築・実事業化支援

沖縄IT産業戦略センター(仮)
戦略・計画に基づく、
施策案の共同検討(PJ化検討)

沖縄×○○×IT



活動を通じた多元的価値を持つ人材の育成

沖縄 × ○○ × IT

